

れん・れん

わやがわ 連・連

第14号

2006年

5月7日発行

[市民活動センターニュース]

(連係・連携・連結・連衡・連鎖・連作・連接・連帯・連盟・連綿)

発行：寝屋川市立市民活動センター

572-0848 寝屋川市秦町4-1-1 TEL 072-812-1116 FAX 072-812-1118

町の木々も緑鮮やかな、すがすがしい季節になりました。

ひごろから、寝屋川市の市民活動活性化に、ご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。

当センターも平成14年10月に開設してから、早いもので約3年半が経ちました。この間、市民の皆さんや市民活動団体、他市の市民活動支援施設の方々など、本当に多くの皆さんの支えによって、ここまで順調に運営してこられたと実感しています。重ねてお礼申し上げます。

当センターでは平成18年4月から、市内の市民活動団体や学識経験者、地縁活動団体の方などから組織された、運営協議会組織の団体に事業運営を委託しています。

これまでの3年半のなかで、さまざまな市民活動団体が生まれ、いろいろな分野で活躍するようになり、寝屋川市全体に市民活動が広く認知されつつあります。

今後さらに市民活動を活性化していくためには、活動をしている人たち自身が、その想いや経験などを活かしながら、対話や交流を重ねてよりよいセンター運営を考えていくことが必要だと感じています。市民の方々、ボランティア活動をなさっている方々の知識・経験・情熱を結集して、すばらしい市民活動センターにしていきたいと願っています。

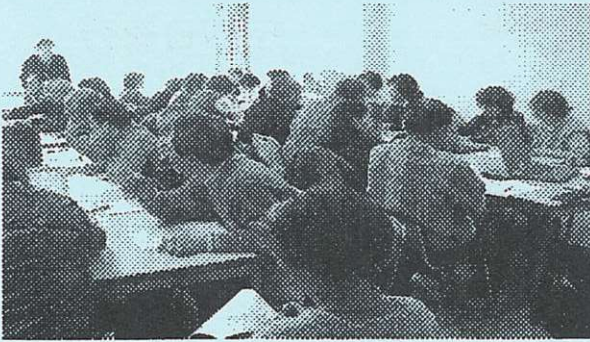
私たち自治体も、皆さんと力を合わせていろいろな場面でサポートしていきたいと考えていますので、今後とも市民活動センターへのさらなる、ご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



(寝屋川市 人・ふれあい部ふれあい課)

ボランティアのつどい・ふれあい

色々な集いがあります。みんなと楽しいふれあいがあり、面白く、ためになることが多くあります。知恵と知識を収集しましょう。



「パソコントラブル解決法」1月24日(火)

講師:大岩義夫(楽習サークル)さん

ちょっとしたつまづきでパソコン嫌いになってた……。

わかったらまた次へ進め、楽しさと自信につながる……。

「子育て交流会」1月30日(月)

ちょっと少なかったけど和気あいあい



「消耗品支給説明会」1月26日(木)ふれあい課

「雑誌は消耗品で本は違う??」助成の対象を真剣に聞く活動団体。



チャレンジ講座「会社人間から地域人間へ」

熱弁ふるう、絹川正明氏(神戸竹の台自治会長・関電OB)

2月18日(土)

この講座は退職後の人生の選択肢のひとつとして市民活動にも目を向けてもらおうと企画し、シリーズは昨年に続いて2回目となります。絹川氏は企業時代に社会貢献活動を体験されたことがきっかけに、退職後自治会活動を始め、多くのボランティアを体験され、飾らないお人柄でユーモアたっぷりに話してくださいました。



「ボランティアの仕事って大変だなと改めて思った」「普段聞けない話で刺激になった」「自分は何のとりえもないが、何か役に立つことをしたい」など前向きに捉えた意見が多かった。

チャレンジ講座第2弾、2月25日(土)、活動センター受託団体NPO法人寝屋川あいの会代表三和清明氏が「寝屋川の市民活動について」説明、続いて「地域活動体験者の声」として、二反田周平氏、

下野文大氏、古賀裕子氏、逸見充宏氏の4人が体験活動を話しました。みんな地域に密着した活動だけに参加者の関心度も高く、興味深く聞き入っていました。3月4日(土)のインターシップには2名が参加し、特別養護老人ホームで高齢者介護を体験されました。みなさま、本当にお疲れさまでした。



登録団体紹介

特定非営利活動法人 友・遊 山田満代

高宮あさひが丘の住宅街の中で、デイサービス・配食・ふれあいサロンと高齢者対象の福祉サービス事業をしています。デイサービスは、10人定員。明るい部屋で利用者一人一人の状況にあった介護サービス、できたての食事、笑い声の中で過ごす時間を心掛けています。少人数ならではの「お散歩」も定番好評メニューです。営業日 月～木、土曜日(金、日休み)

配食 友・遊べんとうは、食材の種類が豊富、野菜たっぷり、ボランティアが心を込めて作った夕食弁当を60歳以上の方なら誰でも、どこでも(寝屋川市内)何個でも配達します。1食500円(配達無料)。営業日 月～木曜日

ふれあいサロン ほほえみくらぶは、65歳以上の方ならどなたでも大歓迎。ボランティア手づくりの昼食を皆で食べながら、おしゃべりがはずみます。毎回季節を味わえる、楽しいプログラムを利用者と一緒に計画しています。

利用料 500円 営業日 毎週金曜日 11時～14時

どの事業も

ボランティア大募集!! あなたの気持ちと時間を 少し下さい!お問合せは、812-1128(山田)

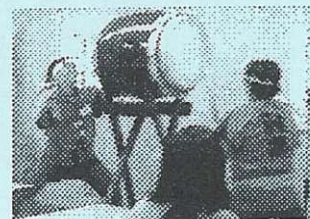


保育グループたんぽぽ 木村聡美

1997年3月にお子さんを持つ保護者を応援するために集まった人たちで立ち上げた市民団体です。活動は主に行政などの主催する講座における乳幼児の保育を行っています。保育では「保育カード」に保育中のお子さんの様子などを記入して、後にお母さんにその保育カードを渡しながらか口頭でもお子さんの様子を伝えながらお母さんともコミュニケーションをとるようにしています。お母さんと離れている間お子さんはさみしいもの、だからお子さんも楽しい時間を過ごせるよう心がけています。また、毎年1月から3月にかけて「保育ボランティア入門講座」を主催しています。この講座は全6回で保育ボランティアに興味のある方はもちろん、お子さんを持つお母さん方の子育てのヒントにもなる講座です。毎回たくさんの方にご応募いただいております。年に1回は行っていますので次回ご応募お願いします。また、以前はカプラ(積み木のようなおもちゃ)の講座や、映画「こどもの時間」の上映なども主催して行っていました。これからもお子さんを持つ保護者向けの講座を企画して行っていきたくと思っています。

NPO法人 雅夢 雅夢 NPO 法人 理事長 内田邦子

『和太鼓 雅』(みやび)の10年の活動の中で、一度和太鼓を叩いてみたいという方に大勢出会いました。私達も演奏活動の中、こんな楽しいことならみんなに伝えたいという思いで、“日本の伝統楽器和太鼓の普及および青少年の健全育成”を



目的に“みんなで楽しい和太鼓を！”をモットーに、平成13年6月にNPO法人雅夢(がむ)を設立しました。学校教育への指導や公演活動、和太鼓体験講座の開設、海外の方との国際交流、府民スポーツレクリエーションフェスで100人太鼓を演奏するなど、色々な取り組みをしてきました。2005年2月には、タイ国政府の依頼によりスマトラ沖地震津波災害にあったプーケットに復興支援コンサートへ招待され、“津波に負けないで”“響け和太鼓みんなの心へ”を太鼓の音にのせて伝えてきました。太鼓に言葉はいらなかった瞬間でした。カラオケと同じように、誰でも気軽に叩けて楽しめる和太鼓の大衆文化を創って行きたい。子ども達が大きくなって、ふるさと日本に和太鼓と言う文化があると伝えてほしい。そういう意味で2003年に子ども和太鼓チーム『雅っ鼓』を結成しました。日本の礼儀作法と和の心、精神力を和太鼓で、そして何より子ども達が楽しめる太鼓を！現在は、枚方・大阪市鶴見と3支部があり、みんなに喜んでもらえる演奏をめざして子供たちが頑張っています。NPO法人雅夢は、日本の伝統芸能楽器、和太鼓を次世代へとまた世界へと繋いでいくために前進して行きたいです。和太鼓の事なら何でもお任せください。

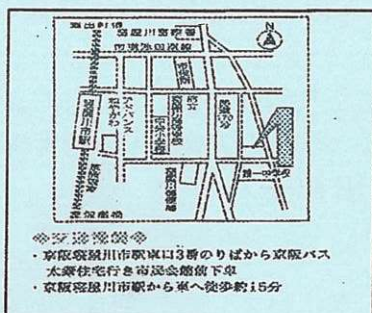
ニッセイ財団高齢社会助成募集

「共に生きる地域コミュニティづくり」を基本に実践的研究と先駆的事業の募集を行っています。

実践的研究助成 平成18年3月13日～6月14日

先駆的事業助成 平成18年3月13日～5月31日

概要	実践的研究助成	先駆的事業助成
助成対象	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の自立・ケア・自己実現 社会参加を促す実践的研究 高齢社会における地域福祉、まちづくりを促す実践的研究 認知症高齢者の予防からケアまでを促す実践的研究 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の自立・ケア・自己実現、社会参加を推進する先駆的事業 高齢社会における地域福祉、まちづくりを目指す地域社会システムづくりの先駆的事業 認知症高齢者に関する予防からケアまでの総合的な先駆的事業
新規的助成	5～6件程度	2団体程度
助成期間	平成18年10月から1年	1団体あたり350万円以内(1年半)
助成金総額	1600万円以内(継続助成を含む)	2400万円(継続助成を含む)
締め切り	平成18年6月14日(水)	平成18年5月31日(水)
助成決定	当財団選考委員会にて選考の上、9月上旬の理事会で決定	



☆寝屋川市立市民活動センターのご利用案内

開館時間 9:00～21:00

(日曜・祝日は9:00～17:30)

休館日 毎月第2月曜日及び12/29～1/3

TEL:072-812-1116 FAX:072-812-1118

E-mail smkd-center@orion.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~katudo/>

〒572-0848

寝屋川市秦町41-1 寝屋川市民会館4階